

別紙

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田 180-6
評価実施期間：令和5年6月1日から令和6年1月5日	*契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B2020068      B2020064	

### 2 福祉サービス事業者情報（5年9月現在）

事業所名：あかり AW (施設名)	種別：訪問介護	
代表者氏名：水谷 奈美江 (管理者氏名)	定員（利用人数）：20名	
設置主体：社会福祉法人 梓の郷 経営主体：社会福祉法人 梓の郷	開設（指定）年月日： 平成29年4月1日	
所在地：〒390-1701 長野県松本市倭 2675-1		
電話番号：0263-88-2381	FAX番号：0263-88-2386	
電子メールアドレス：akari-aw@salvia.nagano.jp		
ホームページアドレス：http://azusanosato-salvia.jp		
職員数	常勤職員：1名 (専門職の名称) 名	非常勤職員 8名
専門職員		
施設・設備 の概要	(居室数) 20室	(設備等)

### 3 理念・基本方針

わたしらしく、いつまでも ～生きがい、つながりあい、支え合い～ 1. 介護とは、生きがいへの支援である。 2. 介護とは、ヒューマンサイエンスの実践である。 3. 介護とは、地域ネットワークである。 4. そして、支え合うこと。
---

### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅型有料老人ホームと24時間体制の訪問介護事業所を併設しているため自立支援から終末期まで対応しています。</li><li>・事業所間の連携により必要なサービスまたは本人、家族の意向に沿った要望も取り入れています。</li></ul>
--

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 年度）
---------------	----------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

(1)施設の立地環境に恵まれています。

○施設の立地環境に恵まれており、庭に遊歩道があり、四季折々の植物が楽しめ癒されます。

また、近隣にコンビニ、薬局をはじめとする医療機関があり、暮らしやすいといえます。

隣には、コミュニティスペース“よりみち”があり、地域の方々との自然なふれあいが感じられる良い距離感があります。今後の地域活動について期待されます。

(2)居宅時からの在宅支援が継続され、利用者ニーズに応じたサービスが提供されています。

○利用されている方ほとんどが、入所前からのケアマネージャーを引き続き付けていらっしゃるの、継続した支援が受けられています。

介護スタッフもケアマネージャーとお互いに情報の共有が出来るとお話されおり、良い関係を築いています。それまでの生活の中で、行ってきた趣味活動も制限される事なく、自分のペースで継続されていました。

○入居する利用者の中には、日中デイサービスに通われている方、事業所内にて訪問介護サービスの提供を受けている方がいます。一人ひとりの希望を汲み取り、想いになかった支援が行なわれています。

○利用者が外部のデイサービスに通われていることで、人間関係の広がりや外部からの刺激を受け、情緒の安定につながっています。

○医療的ケアの必要な利用者に対して、訪問介護、訪問看護サービスが提供され、有料老人ホームに於ける在宅支援サービスが整っています。

○食事は外注になりますが、より利用者のニーズに沿ったサービス提供を受けられるように、業者に食事の感想や要望を伝えていました。

(3)キャリアパスの導入による職員の業務に対するモチベーションの向上が図られています。

○正規職員および非正規職員を対象としたキャリアパス制度が整っており、等級、経験年数に応じた求められる能力や機能が明文化されています。職員が目指そうとするキャリアが見える化されており、モチベーションの向上につながっています。

(4)法人による次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法に基づく行動計画が策定されています。

○2法を推進するに当たり、令和4年4月より令和6年3月までの2年間の行動計画を策定し、年次有給休暇の取得率50%または取得日数10日以上、管理職(課長級以上)およびリーダー職(係長以上)の女性比率5割以上等数値目標を掲げています。また、女性の活躍に関する情報が公開されています。

(5)看取りケアに取り組んでいます。

○管理者自らが終末期ケア専門士資格を取得し、事業所が看取りケアに取り組もうとする方向性を示しています。終末期ケア専門士資格の取得に向けて研修に取り組む職員もいます。

(6)事業所間の情報交換と情報共有が図られています。

○訪問介護4事業所及びデイサービス事業所職員による様々な委員会活動を通して、支援の標準化はもとより、利用者の生活の質の向上を目指したサービスの提供に取り組んでいます。

◇特に改善する必要があると思う点

(1)コロナ禍後に提供できる、利用者へのサービスの在り方の検討を望みます。

○コロナ禍で大変な中、利用者が楽しめるように工夫を凝らして行事など計画されていました。制限が解除された今、出来る事を、更に模索して頂き、利用されている方の気持ちが前に向けるよう日常が安心して生活できるように検討していただければと思います。

(2)ボランティアの受け入れを積極的に進めてください。

○ボランティアは利用者地域をつないでいく上で欠かせない存在です。事業所が必要としている

ボランティアとして、傾聴や医療機関への受診時の送迎ボランティアが上がっていますので、受け入れに向けての体制を整えてください。

(3) 評価項目の理解と周知共有に努めてください。

○ 共通評価項目並びに内容評価項目の、職員による自己評価結果より、知らない・わからないと回答された項目が多々見られました。評価項目の着眼点の一つひとつの内容について、理解と共有、振り返りの時間が設けられることを期待します。

## 7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目（別添 1）
- ・ 内容評価項目（別添 2）

## 8 利用者調査の結果

聞き取り方式（別添 3 - 2）

長野県福祉サービス第三者評価事業評価結果取扱要領第 2 条第 1 項の規定により、有効回答者数が 10 人未満のため（有効回答者数が利用者総数の半数未満のため）、非公開とします。

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）